

カラフル

2024. 07 No. 04

新書を読もう月間はじまる！

7月の朝読書の時間では『新書』を読みましょう！
新書について気になることがあれば、先生方や司書に聞いて下さい♪

新書ってどんな本？

「本」には様々な大きさがあります。「新書」は、103mm × 182mmが一般的なサイズです。

内容としては主に社会の関心事や教養、専門分野を解説した本になっています。代表的なものに岩波新書や新潮新書があります。



ひとつのテーマに対して様々な視点から考察した内容となっているので小論文や論文作成をするときのヒントになります。

「いつ」「どこで」読む本？

いつでも、どこでも読んでください。

寝る前に読むのも、電車の中で読むのもアリ！
コンパクトで持ち運びしやすいサイズとなっています。片手でも読みやすい軽さなのもいいですね。



持ち歩けるサイズなので、すきま時間に読むことができます。
いろんなテーマの本があるから、気分でも選ぶこともできます。

約
182
mm

約 103mm



進路別★読んでおきたい新書をPICK UP！



◇人文系・・・研究対象は文学、語学、文化、そして人間そのもの。



知の体力 / 永田 和宏著（新潮新書）

「答えは必ずある」などと思っていけない。細胞生物学者にして日本を代表する歌人でもある著者が、これから学ぶ人、一生学び続けたい人たちに向けて、自力で生きぬくための本物の「知」の鍛錬法を説く。



◇法学系・・・法と政治の視点から現代社会の仕組みを探る。



AI 倫理 / 西垣 通著，河島 茂生著（中公新書ラクレ）

AI があやまちを犯し、自動運転車が暴走したら、誰が責任をとるのか。そもそも、AI が人間を凌駕するという予測は正しいのか。来るべき AI 社会を倫理的側面から徹底的に論じる。



◇経済系・・・経済の動きを分析し、現代社会に応用する。



ファッションの仕事で世界を変える / 白木 夏子著
（ちくまプリマー新書）

貧困や社会問題への取り組み、夢の追求、ビジネスへの挑戦心…。その全てを同時に叶える「エシカル・ビジネス」。エシカル・ビジネスの心得から、起業までの具体的な計画づくりまでを解説する。



◇教育系・・・教育の本質や目的を学び、教員を養成する。



友だち幻想 / 菅野 仁著（ちくまプリマー新書）

身近な人たちの親しいつながりが大事だと思っていて、そのことに神経がすり減るくらい気を遣っている。なのにうまくいかないのはなぜか。さまざまなキーワードにしたがって問題を整理し、人と人のつながりについて考える。



◇**社会学系**・・・研究対象は、法律・政治・経済など社会生活に欠かせない

全ての社会現象。



仕事と家族 / 筒井 淳也著（中公新書）

スウェーデンとアメリカは正反対の国と思われがちだが、働く女性が多く、出生率も高いという点で共通している。それはなぜか。歴史的な視点と国際比較を通じて日本の現在地を示し、目指すべき社会を考える。



◇**国際系**・・・現実社会の動向を国際的な視野から捉える。



ふたつの日本 / 望月 優大著（講談社現代新書）

日本はすでに「移民国家」だ。止まらない人口減少の背後で、日本に暮らす外国人は増加の一途をたどっている。日本と移民との関係性を論じ、大きく変わる「国のかたち」の全体像をつかむ。



◇**学際系**・・・社会学科全般にわたる幅広い分野が研究対象。



スマホ脳 / アンデシュ・ハンセン著 久山 葉子訳（新潮新書）

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存…。スウェーデンで注目されるメンタルヘルスのインフルエンサーが、スマホや iPad が人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。



◇**福祉系**・・・社会学系の学部。社会の構造や人間生活のあり方を追究する。



目の見えない人は世界をどう見ているのか / 伊藤 亜紗著（光文社新書）

視覚障害者の空間認識、感覚の使い方、体の使い方、コミュニケーションの仕方、生きるための戦略としてのユーモアなどを分析。目の見えない人の「見方」に迫りながら、「見る」ことを問い直す。



◇**医療系**・・・チーム医療を支える医療専門職を育成する。



出生前診断 / 西山 深雪著（ちくま新書）

出生前診断とはどういう検査か、何がわかるのか。どのような考え方・心構えで検査にのぞめばいいのか。出生前診断にまつわる事実を客観的に解説し、診断を受けるかを迷う人々に、考え方に応じた指針を与える。

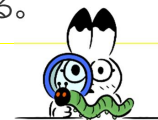


◇**理系**・・・さまざまな切り口から自然現象の真理を解明する。



ビッグデータと人工知能 / 西垣 通著（中央公論新社）

人工知能が人間を超える!? 基礎情報学にもとづいて、ビッグデータや人工知能の現在の動向と論点を明快に整理し分析。技術万能主義に警鐘を鳴らし、知識増幅と集合知を駆使することにより拓かれる未来の可能性を提示する。



◇**情報・メディア系**・・・情報化が社会に与える影響を科学的手法で分析する。



スマホを捨てたい子どもたち / 山極 寿一著（ポプラ新書）

「スマホを捨てたい」という高校生たち。AI 時代に生きる若者が、スマホで人とつながることに漠然とした不安を感じている。人類の歴史とゴリラ研究の見地から、生物としての人間らしさ、隠された野生の力を探る。



今回、紹介したのは新書のほんの一部です。

自分の**進路**や**興味**のある分野で選んでもいいし、**タイトル**や**作者**で選んでもいい。

本を開いてみて「なんか違うな」と思ったら読む本を変えてもいいと思います。みなさんが心に響く1冊と出会えることを応援しています。

借りる本に迷ったら、ぜひまほら館カウンターまで!

